



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
 コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,146	2.5	479	△37.7	530	△32.8	424	△8.7
2026年3月期第1四半期	38,198	△2.4	769	△40.2	789	△40.2	465	△43.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 428百万円 (△34.7%) 2026年3月期第1四半期 656百万円 (△36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	39.18	—
2026年3月期第1四半期	42.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	63,646	39,543	58.2
2026年3月期	64,981	39,574	57.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 37,030百万円 2026年3月期 37,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	37.00	—	38.00	75.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当2円00銭（会社設立55周年記念配当）

2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当3円00銭（会社設立55周年記念配当）

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	79,000	1.0	1,320	1.5	1,330	0.7	747	0.1	68.90
通期	161,000	1.2	3,760	5.3	3,800	2.8	2,090	0.6	192.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	10,847,870株	2026年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	6,536株	2026年3月期	6,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	10,841,360株	2026年3月期1Q	10,841,444株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、中東情勢の緊迫化による原材料価格やエネルギー価格の高止まりに加え、物価上昇による消費者の節約志向も継続しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応した商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高が391億46百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益が4億79百万円（同37.7%減）、経常利益が5億30百万円（同32.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億24百万円（同8.7%減）となりました。

酒販事業において、前年4月は3月のメーカー値上げ前の駆け込み需要の反動減があったこと、外食事業で直営店が増加したことが寄与し、売上高は増収となりました。増収効果により売上総利益は増加しましたが、人件費や光熱費等の高騰に伴う販管費の増加分を補うことはできず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

当第1四半期連結会計期間末において、酒販事業356店（前年同期比3店増）、外食事業592店（同20店減）、グループ合計店舗数948店（同17店減）を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は318億62百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は3億25百万円（同42.2%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間は、最大12連休となったGWを商機と捉え、観光需要や帰省需要の取り込みに努めたことで売上高は好調に推移していましたが、6月は昨年と比べて全国的に雨の多い梅雨となり、気温も低めに推移したため、ビールや飲料の需要が伸びず、売上は低迷しました。

売場展開としては、J Rと自治体が共同で実施する「ふくしまディステーションキャンペーン」が始まり、全店で「ふくしまフェア」を開催して地域を盛り上げました。本年はアメリカ建国250周年という節目の年にちなみ、アメリカンダイナーを切り口としてアメリカの食文化や飲用シーンを提案する売場作りを進めました。さらに、6月から開催されたF I F Aワールドカップに合わせ、アメリカンダイナー売場を中心に出場国のお酒なども展開することで、スポーツ観戦需要の獲得に努めました。6月には大雨被害や大規模地震が発生したことで自然災害に対する警戒感が高まり、改めて自分の好きなお酒や食品を備蓄していただく「マイフェイバリット・ローリングストック」を推奨し、お客様の安全・安心な暮らしのサポートに努めました。

新規出店として、美濃加茂店（岐阜県）を開店し、竜舞店（群馬県）を閉店しました。これにより、2026年6月末における酒販事業の総店舗数は、356店舗（前年同期比3店増）となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は73億80百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は1億53百万円（同25.0%減）となりました。

外食業界におきましては、インバウンド需要が引き続き堅調な推移を示したものの、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は依然として高止まりし、原材料費、光熱費、人件費の上昇もあり、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社子会社のチムニー株式会社では、「牡蠣フライ×G I N O Nフェア」、「生ビール祭」などのフェアを開催し、目玉商品を特別価格でご提供、また、抽選で商品やお食事券が当たるSNSキャンペーンも開催し、大変ご好評いただきました。株式会社つば八では、旬の食材や少し贅沢なメニューを取り揃えた「旬彩ごちそうフェア」、人気メニューを550円均一で提供する「G O G Oフェア」などを開催して集客に努め、幅広いお客様にご利用いただきました。

店舗開発としましては、チムニーで直営店1店舗を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）を進めてまいりました。

2026年6月末における外食事業直営店は、チムニーが328店、つば八が12店の計340店（前年同期比13店増）、F C店は、チムニーが127店、つば八が125店の計252店（同33店減）となり、外食事業の総店舗数は592店（同20店減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて13億35百万円(△2.1%)減少し、636億46百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が7億51百万円、商品及び製品が3億23百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて12億60百万円(△3.1%)減少し、390億48百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて74百万円(△0.3%)減少し、245億97百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて13億4百万円(△5.1%)減少し、241億2百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が5億98百万円、賞与引当金が3億52百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて6億96百万円(△3.6%)減少し、188億64百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて6億8百万円(△10.4%)減少し、52億38百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて30百万円(△0.1%)減少し、395億43百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.1%から58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2026年5月15日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,464	11,712
売掛金	5,704	5,587
商品及び製品	20,090	19,766
仕掛品	83	81
原材料及び貯蔵品	33	26
前払費用	897	861
その他	1,175	1,149
貸倒引当金	△140	△137
流動資産合計	40,308	39,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,435	30,535
減価償却累計額	△24,676	△24,737
建物及び構築物（純額）	5,759	5,798
機械装置及び運搬具	1,654	1,661
減価償却累計額	△1,535	△1,540
機械装置及び運搬具（純額）	119	121
工具、器具及び備品	10,026	10,059
減価償却累計額	△9,196	△9,253
工具、器具及び備品（純額）	830	806
リース資産	1,886	1,894
減価償却累計額	△1,515	△1,523
リース資産（純額）	370	371
土地	4,818	4,818
建設仮勘定	81	58
有形固定資産合計	11,979	11,975
無形固定資産		
ソフトウェア	131	127
のれん	1,164	1,126
その他	16	16
無形固定資産合計	1,312	1,271
投資その他の資産		
投資有価証券	1,381	1,451
関係会社株式	1,295	1,107
破産更生債権等	63	64
長期前払費用	145	155
退職給付に係る資産	73	79
差入保証金	6,895	6,873
繰延税金資産	1,526	1,626
その他	58	55
貸倒引当金	△59	△62
投資その他の資産合計	11,380	11,351
固定資産合計	24,672	24,597
資産合計	64,981	63,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,104	9,923
短期借入金	2,300	2,300
1年内返済予定の長期借入金	1,470	1,470
リース債務	33	35
未払金	1,966	1,729
未払費用	935	974
未払法人税等	670	72
未払消費税等	714	715
預り金	215	602
賞与引当金	790	438
その他	359	601
流動負債合計	19,560	18,864
固定負債		
長期借入金	1,507	1,390
退職給付に係る負債	354	356
リース債務	372	370
役員退職慰労引当金	724	257
資産除去債務	1,606	1,609
その他	1,281	1,253
固定負債合計	5,847	5,238
負債合計	25,407	24,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	27,054	27,067
自己株式	△9	△9
株主資本合計	36,107	36,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996	907
退職給付に係る調整累計額	3	2
その他の包括利益累計額合計	1,000	910
非支配株主持分	2,465	2,512
純資産合計	39,574	39,543
負債純資産合計	64,981	63,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	38,198	39,146
売上原価	27,089	27,866
売上総利益	11,109	11,279
販売費及び一般管理費	10,339	10,800
営業利益	769	479
営業外収益		
受取利息	0	3
受取手数料	20	19
受取配当金	16	21
持分法による投資利益	6	7
有価証券売却益	—	23
その他	10	21
営業外収益合計	53	96
営業外費用		
支払利息	19	23
店舗改装費用	7	6
店舗閉鎖損失	—	1
その他	6	13
営業外費用合計	33	45
経常利益	789	530
特別利益		
固定資産売却益	—	1
受取保険金	31	—
特別利益合計	31	1
特別損失		
減損損失	49	17
その他	29	—
特別損失合計	78	17
税金等調整前四半期純利益	742	513
法人税、住民税及び事業税	57	56
法人税等調整額	128	△54
法人税等合計	185	1
四半期純利益	556	512
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	465	424

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	556	512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	△81
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	99	△83
四半期包括利益	656	428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549	334
非支配株主に係る四半期包括利益	107	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,086	7,111	38,198	—	38,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76	—	76	△76	—
計	31,162	7,111	38,274	△76	38,198
セグメント利益	562	205	767	1	769

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において5百万円、「外食事業」において43百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,766	7,380	39,146	—	39,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95	—	95	△95	—
計	31,862	7,380	39,242	△95	39,146
セグメント利益	325	153	479	—	479

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において17百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	248百万円	266百万円
のれんの償却額	37	37